



# 機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 4 年 8 月 実績

August 2022



令和 4 年 10 月

October 2022

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics  
Economic and Social Research Institute  
Cabinet Office, Government of Japan

## 目 次

2022（令和4）年8月の機械受注動向	
(1) 需要者別受注動向（季節調整値）	1
(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

### （ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

### （ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu\\_juchu.html](https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html)
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

## 2022（令和4）年8月の機械受注動向

### (1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、7月0.3%増の後、8月は9.5%減となった。

需要者別にみると、民需は、7月6.2%増の後、8月は5.0%減となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、7月5.3%増の後、8月は5.8%減となった。内訳をみると製造業が10.2%増、非製造業（船舶・電力を除く）が21.4%減であった。

一方、官公需は、7月18.4%減の後、8月は「その他官公需」で減少したものの、地方公務、防衛省等で増加したことから、29.4%増となった。

また、外需は、7月2.4%減の後、8月は航空機、原動機で増加したものの、電子・通信機械、産業機械等で減少したことから、18.9%減となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、7月4.7%減の後、8月は電子・通信機械、鉄道車両で減少したものの、道路車両、工作機械等で増加したことから、4.9%増となった。

### (2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、7月5.4%減の後、8月は10.2%増となった。

8月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（431.7%増）、化学工業（94.5%増）等の8業種で、パルプ・紙・紙加工品（19.7%減）、繊維工業（18.3%減）等の9業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、7月12.1%増の後、8月は14.5%減となった。

8月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、電力業（36.1%増）、卸売業・小売業（23.8%増）等の6業種で、運輸業・郵便業（56.3%減）、不動産業（51.6%減）等の6業種は減少となった。

### (3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

8月の販売額は2兆6,490億円（前月比0.2%減）で、前3か月平均販売額は2兆5,935億円（同3.4%増）となり、受注残高は34兆1,148億円（同0.1%減）となった。この結果、手持月数は13.2か月となり、前月差で0.5か月減少した。

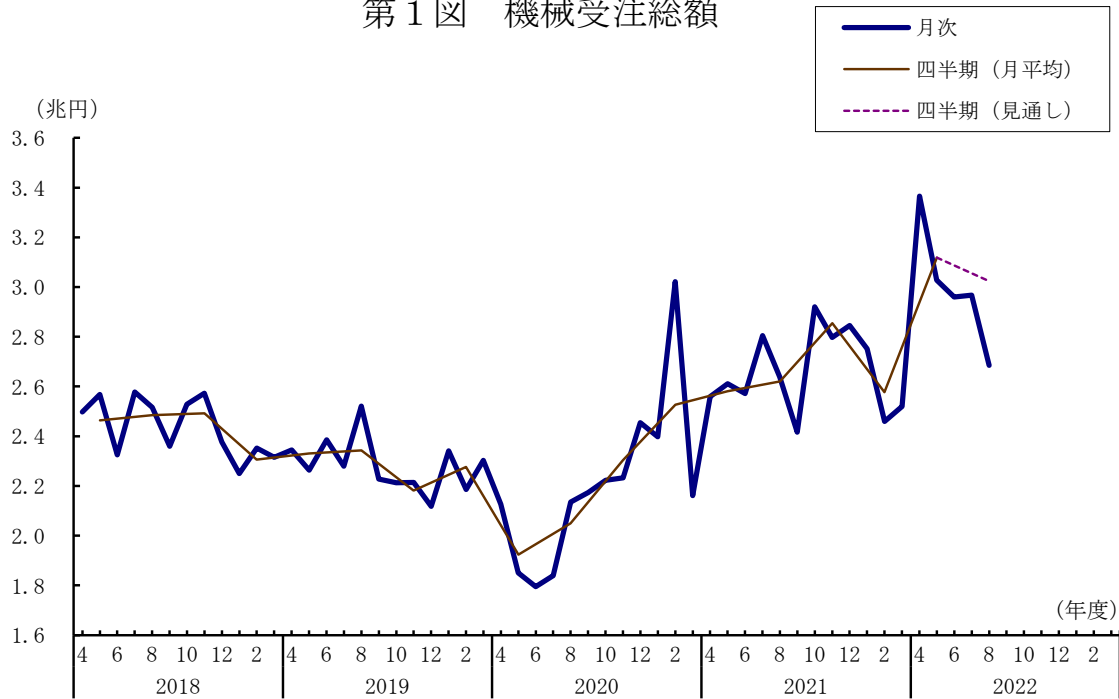
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

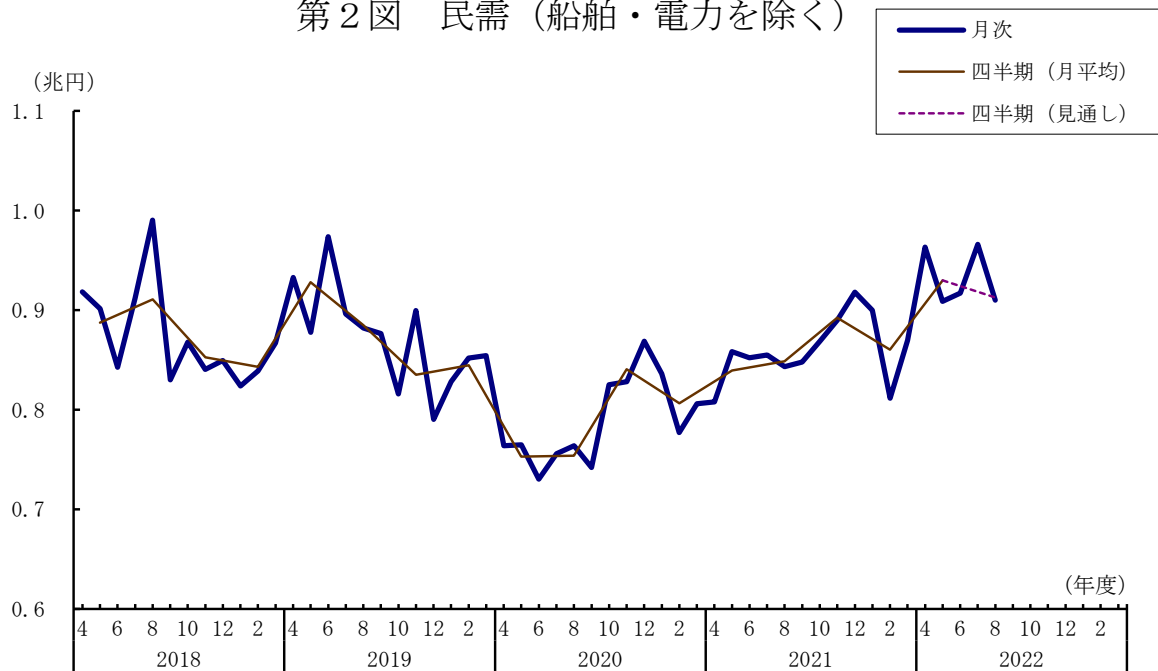
期・月 需要者	2021年 (令和3年)		2022年 (令和4年)		2022年 (令和4年)			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	5月	6月	7月	8月
受注総額	78,597 ( 1.5) [ 26.0]	85,633 ( 9.0) [ 23.6]	77,306 ( -9.7) [ 4.6]	93,531 ( 21.0) [ 20.6]	30,273 ( -10.1) [ 17.9]	29,597 ( -2.2) [ 15.2]	29,674 ( 0.3) [ 3.9]	26,849 ( -9.5) [ 2.9]
民需	29,077 ( -0.9) [ 4.3]	33,163 ( 14.1) [ 14.1]	28,542 ( -13.9) [ 3.6]	32,612 ( 14.3) [ 11.4]	10,450 ( -9.0) [ 7.2]	10,676 ( 2.2) [ 6.6]	11,340 ( 6.2) [ 14.3]	10,776 ( -5.0) [ 13.1]
〃 (船舶・電力を除く)	25,459 ( 1.1) [ 13.3]	26,764 ( 5.1) [ 6.4]	25,805 ( -3.6) [ 6.1]	27,888 ( 8.1) [ 10.8]	9,088 ( -5.6) [ 7.4]	9,170 ( 0.9) [ 6.5]	9,660 ( 5.3) [ 12.8]	9,098 ( -5.8) [ 9.7]
製造業	12,629 ( 7.2) [ 33.7]	13,014 ( 3.1) [ 23.4]	13,112 ( 0.8) [ 24.2]	14,301 ( 9.1) [ 21.2]	4,522 ( -9.8) [ 14.6]	4,765 ( 5.4) [ 19.4]	4,506 ( -5.4) [ 6.6]	4,964 ( 10.2) [ 30.1]
非製造業 (船舶・電力を除く)	12,949 ( -3.6) [ -1.2]	13,830 ( 6.8) [ -6.4]	12,712 ( -8.1) [ -7.1]	13,684 ( 7.6) [ 1.8]	4,498 ( -4.1) [ 0.6]	4,498 ( -0.0) [ -4.1]	5,176 ( 15.1) [ 19.3]	4,067 ( -21.4) [ -8.2]
官公需	8,081 ( 5.9) [ -7.3]	8,372 ( 3.6) [ 4.2]	8,139 ( -2.8) [ 18.8]	8,709 ( 7.0) [ 16.0]	2,676 ( -20.1) [ 9.6]	2,684 ( 0.3) [ 4.5]	2,190 ( -18.4) [ -22.1]	2,833 ( 29.4) [ 1.5]
外需	38,568 ( 4.1) [ 64.8]	39,216 ( 1.7) [ 38.7]	36,623 ( -6.6) [ 2.1]	48,118 ( 31.4) [ 30.8]	16,154 ( -2.4) [ 28.3]	15,410 ( -4.6) [ 26.4]	15,033 ( -2.4) [ 3.0]	12,199 ( -18.9) [ -3.3]
代理店	3,659 ( 2.0) [ 19.8]	3,710 ( 1.4) [ 15.4]	3,291 ( -11.3) [ 0.5]	3,675 ( 11.7) [ 2.5]	1,263 ( 4.1) [ 7.0]	1,199 ( -5.1) [ -2.0]	1,143 ( -4.7) [ -10.5]	1,199 ( 4.9) [ -2.4]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2022年7～9月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2022年6月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

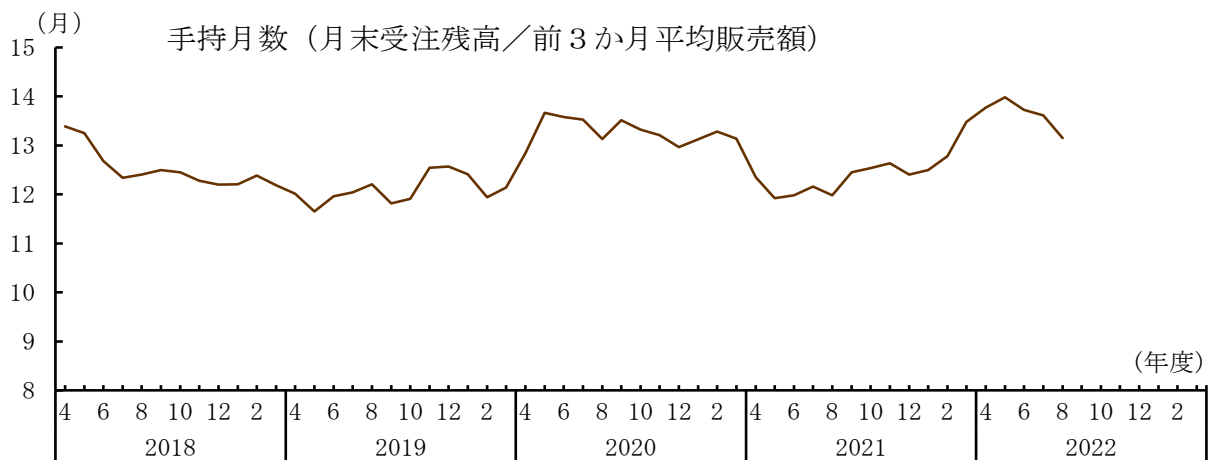
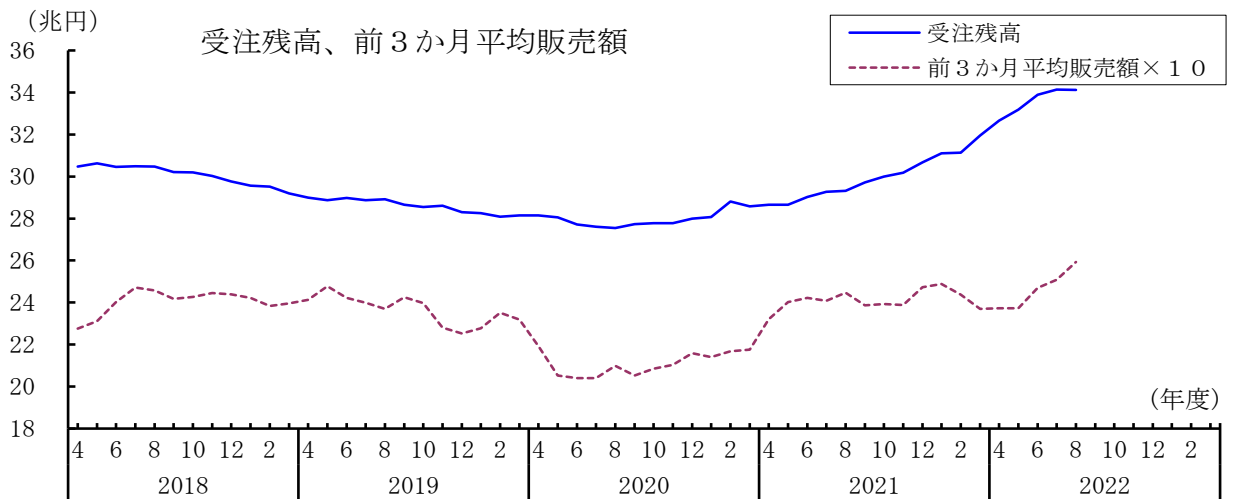
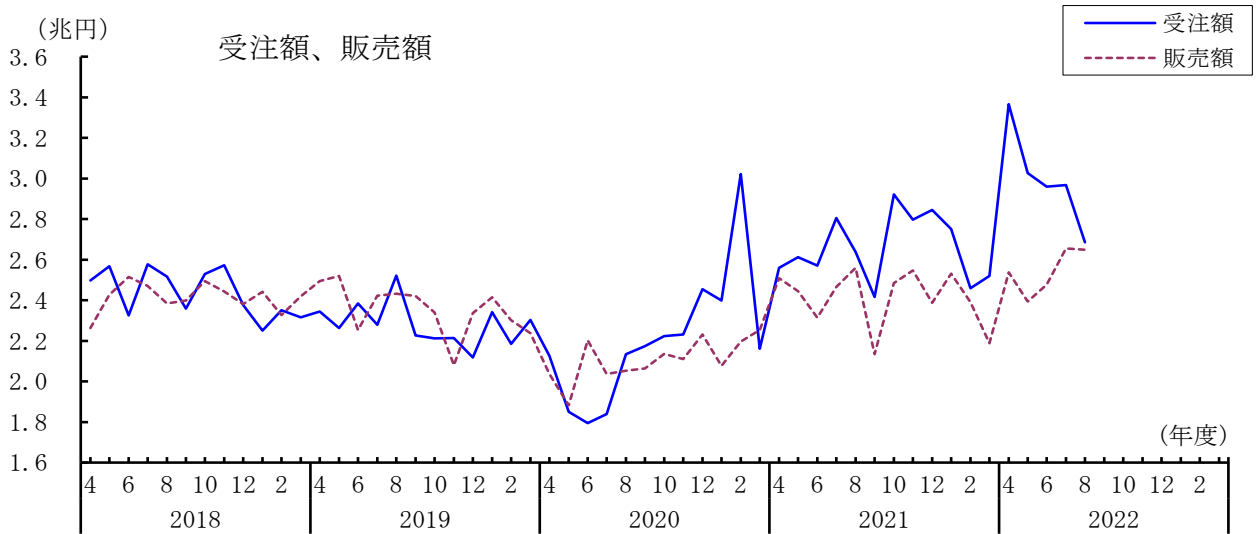
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2021年		2022年		2022年			
		(令和3年) 7～9月	10～12月	(令和4年) 1～3月	4～6月	(令和4年) 5月	6月	7月	8月
I 製造業計		7.2	3.1	0.8	9.1	-9.8	5.4	-5.4	10.2
1 食品製造業		-11.1	31.0	-23.2	19.8	-16.4	6.1	-16.0	5.0
2 繊維工業		21.8	-6.3	8.0	-24.2	3.7	-14.2	68.3	-18.3
3 パルプ・紙・紙加工品		-1.5	23.8	-20.8	21.2	52.9	-14.0	-24.1	-19.7
4 化学工業		77.0	-45.2	24.0	-3.7	-12.3	34.1	-40.7	94.5
5 石油製品・石炭製品		-39.8	31.6	-11.7	43.4	-59.1	46.2	-1.4	-4.1
6 窯業・土石製品		2.9	4.9	-8.4	-1.6	13.0	-19.6	25.3	-11.0
7 鉄鋼業		16.9	3.8	-9.9	46.9	68.6	0.8	-19.2	-6.0
8 非鉄金属		33.8	19.0	50.1	-62.9	95.9	-58.5	155.6	431.7
9 金属製品		16.6	-6.4	21.2	4.1	-22.9	14.3	-11.8	-14.6
10 はん用・生産用機械		3.3	7.9	-5.6	11.3	10.4	-9.2	6.2	-8.8
11 業務用機械		-9.5	32.8	-11.6	-6.0	-25.6	22.1	-12.1	10.0
12 電気機械		3.7	19.3	2.2	-4.1	-26.1	28.0	-14.0	-9.9
13 情報通信機械		35.2	4.7	0.9	22.1	14.5	-15.3	0.5	-10.5
14 自動車・同付属品		-4.3	-2.0	1.8	21.7	-7.0	4.9	-9.9	18.2
15 造船業		14.1	1.9	-38.3	129.4	43.1	14.8	-40.4	18.2
16 「その他輸送用機械」		-5.9	7.9	0.5	17.4	-34.9	-7.9	24.7	22.3
17 「その他製造業」		5.7	-13.1	14.6	10.9	-11.0	19.2	-17.1	20.2
II 非製造業計		-5.8	23.7	-22.1	14.8	-9.6	2.0	12.1	-14.5
18 農林漁業		-14.9	17.5	-5.1	5.7	-2.7	6.2	-14.7	-6.3
19 鉱業・採石業・砂利採取業		-33.5	26.0	12.2	-1.4	-24.2	35.6	-27.5	7.3
20 建設業		-12.3	18.2	-16.4	18.2	39.0	-26.3	-15.7	0.7
21 電力業		-13.7	57.9	-37.6	31.0	-27.2	15.3	-23.2	36.1
22 運輸業・郵便業		-4.3	69.3	-39.1	6.1	-42.8	21.4	172.7	-56.3
23 通信業		0.6	-7.1	-6.3	-2.2	13.0	19.9	7.7	-17.8
24 卸売業・小売業		12.4	-8.3	-9.3	30.8	0.5	-7.6	-25.1	23.8
25 金融業・保険業		-7.8	8.9	-9.2	11.8	-34.6	29.9	1.9	-7.5
26 不動産業		3.9	32.5	-15.2	-2.5	32.6	-43.3	171.2	-51.6
27 情報サービス業		1.3	17.7	-9.9	-4.5	3.9	-11.0	1.0	-1.7
28 リース業		6.0	3.5	3.7	3.1	-15.4	-17.5	10.1	6.2
29 「その他非製造業」		4.4	-9.4	-5.2	14.5	-10.2	7.4	-10.1	1.3

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

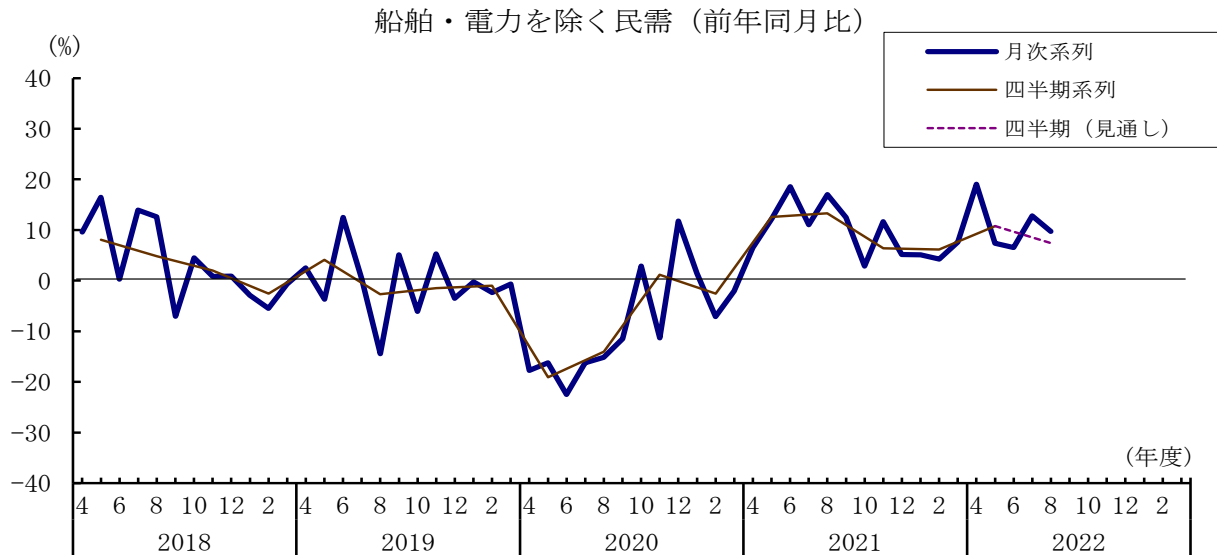
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数  
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

8月の受注総額は、2兆4,273億円の前年同月比2.9%増となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2022年7～9月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2022年6月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は9,230億円で前年同月比13.1%増（船舶・電力を除くと同9.7%増）、官公需は2,241億円で同1.5%増、外需は1兆1,719億円で同3.3%減、また、代理店は1,082億円で同2.4%減となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比30.1%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（712.6%増）、化学工業（57.4%増）等の11業種で、パルプ・紙・紙加工品（27.6%減）、情報通信機械（18.3%減）等の6業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比0.6%増となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、電力業（43.3%増）、鉱業・採石業・砂利採取業（16.2%増）等の5業種で、卸売業・小売業（29.0%減）、通信業（25.7%減）等の7業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

8月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、鉄道車両（161.1%増）、原動機（54.7%増）等で増加となった。反面、船舶（54.0%減）、電子・通信機械（13.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.9%増となった。



また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、原動機（122.6%増）、航空機（59.9%増）等で増加となった。反面、道路車両（36.9%減）、船舶（19.0%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比13.1%増となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2021年 (令和3年) 7～9月	10～12月	2022年 (令和4年) 1～3月	4～6月	2022年 (令和4年) 5月	6月	7月	8月
民需総額	4.3	14.1	3.6	11.4	7.2	6.6	14.3	13.1
原動機	-17.6	43.0	15.2	0.0	12.4	23.6	-4.3	122.6
重電機	3.0	29.9	13.6	37.1	4.0	10.9	21.7	-4.7
電子・通信機械	5.0	1.5	2.7	9.5	-2.1	7.5	-1.5	-3.2
産業機械	18.4	6.7	-1.2	8.5	16.1	1.8	4.5	9.1
工作機械	85.1	73.1	52.2	35.1	46.5	21.8	10.4	9.7
鉄道車両	-35.6	-5.6	-30.6	11.9	-23.5	-8.2	615.4	39.6
道路車両	-4.0	-11.6	-19.3	-27.7	-30.0	-41.7	-33.1	-36.9
航空機	8.7	-3.4	36.7	118.3	53.8	35.2	100.7	59.9
船舶	-85.8	284.0	-5.9	83.7	217.2	1.6	-	-19.0

(備考) 1. 原系列による対前年同期（月）増減率。

2. -は前年同期（月）がゼロまたはいずれかの期（月）がマイナスで、伸び率の計算ができない場合である。

## (2) 販売額

8月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（26.8%増）、重電機（23.2%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（31.2%減）、航空機（27.2%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比3.6%増となった。

## (3) 受注残高

8月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、工作機械（49.1%増）、航空機（46.9%増）等のすべてで増加となった。この結果、合計では前年同月比16.4%増となった。

## 2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

### (1) 鉄構物

8月の受注額は、346億円で前年同月比73.0%増、販売額は、250億円で同201.0%増、受注残高は、4,960億円で同3.3%減となった。

### (2) 軸受

8月の受注額は、613億円で前年同月比2.2%増、販売額は、568億円で同5.9%増、受注残高は、1,101億円で同6.0%増となった。

### (3) 電線・ケーブル

8月の受注額は、1,296億円で前年同月比26.2%増、販売額は、951億円で同6.5%増、受注残高は、2,035億円で同0.1%減となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表  
目 次

[ グ ラ フ ]

第 1 図	主要需要者別受注額 -----	9
第 2 図	主要業種別受注額 -----	12
第 3 図	主要機種別受注額 -----	17

[ 計 数 表 ]

需要者別受注額	(季節調整系列) -----	18
機種別受注残高	手持月数 ( " ) -----	23
需要者別受注額	(原系列) -----	24
機種別受注額	( " ) -----	29
機種別販売額	( " ) -----	33
機種別受注残高	( " ) -----	37
機械受注統計調査結果表	(2022年 8 月実績) -----	41

(別紙)

需要者 (業種) 分類の表章変更	-----	45
------------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----